



新国立劇場 2024/2025 シーズンオペラ 開幕公演

# ベッリーニ 夢遊病の女

<新制作>

La Sonnambula / Vincenzo Bellini

2024年10月3日(木)～10月14日(月・祝)

会場:新国立劇場オペラパレス 2024年8月3日(土) 10:00～ 前売開始

主催:公益財団法人新国立劇場運営財団、独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁

制作:新国立劇場 委託:令和6年度日本博2.0事業(委託型)



テアトロ・レアル 2022年公演より © Javier del Real | Teatro Real

## 芸術の秋、ベッリーニのロマンティックなオペラ『夢遊病の女』が、待望の新国立劇場初登場

新国立劇場オペラ新シーズンのオープニングは、ロマン派初期の作曲家ベッリーニの『夢遊病の女』を待望の新国立劇場初上演。

オペラの華“ベルカント・オペラ”ならではの優美な音楽を、極上のアーティスト揃いでお届けします。

『夢遊病の女』はスイス・アルプスの山村を舞台に結婚をめぐる愛のもつれを描く、極めてロマン主義的なオペラ。叙情的な音楽の宝庫で、甘く情感豊かな旋律(=メロディ)の美はベッリーニならではの。美しいアリアがいっぱいで、クライマックスの「ああ、信じられないわ」はソプラノの名アリアとしても有名。村人たちの合唱がもう一人の主演のように重要な活躍をするのも楽しみです。

## 巨匠ベニーニ、新星ムスキオ、大スター・シラゲーザ、ベルカントの名手がオペラパレスに集結

指揮はイタリア・オペラの名匠マウリツィオ・ベニーニ。世界の著名劇場でイタリア・オペラを任される重鎮が、伝説的名演で熱狂させた『リゴレット』『トスカ』に続く登場です。

アミーナ役は期待の新星クラウディア・ムスキオ。シュトゥットガルトでのアミーナ役デビューでスタンディング・オベーションを巻き起こした若きスターです。エルヴィーノには世界のオペラ界の大スター、アントニーノ・シラゲーザ。ベルカントの粋を極める達人がオペラパレスに集結します。

<資料のご請求、ご取材のお問い合わせ>

新国立劇場 制作部オペラ 広報担当:高梨木綿子

Tel:03-5352-5733/Fax:03-5352-5709/E-Mail: takanashi\_y1307@nntt.jac.go.jp

## “オペラの華”ベルカント・オペラの代表ベッリーニのオペラがオペラパレスに初登場！

### ロマン派楽壇を席卷したベッリーニの完璧な旋律美は音楽ファン必聴！

『夢遊病の女』のほか『ノルマ』『清教徒』などのオペラで知られる作曲家ベッリーニ(1801~1835)は、ベルカント・オペラを代表する作曲家。“ベルカント”の名にふさわしい、甘く官能的で優美な旋律が特徴で、その旋律美はピアノの詩人・ショパンを魅了し、ワーグナーにもその美しさと完璧さが賞賛され、19世紀パリ・ロマン派の楽壇で一世を風靡しました。ベッリーニのオペラが、新国立劇場のシーズンに登場するのは今回が初。クラシック、特にロマン派音楽のファンの方には必聴です。

『夢遊病の女』は主題も極めてロマン的で、スイス・アルプスを舞台にした若いカップルの愛の物語が、叙情的で瑞々しい音楽で描かれます。実は夢遊病のアミーナと婚約者エルヴィーノ、エルヴィーノの元恋人で野心的なリーザ、リーザの恋人アルフィオの暮らす村をロドルフォ伯爵が訪れたことで、誤解からすれ違ってしまふ恋人たち。歓び、激情、悲しみと、愛をめぐる豊かな感情が美しいアリアで歌われます。芸術の秋、ロマンティックな音楽に身を委ねたい方にお薦めしたい、とっておきのオペラです。



テアトロ・レアル 2022 年公演より © Javier del Real | Teatro Real

### 開幕公演にふさわしい豪華キャスト！ベルカント・オペラの名手が勢揃い！



指揮は『トスカ』の伝説的な名演に続き、イタリア・オペラを知り尽くす名匠マウリツィオ・ベニーニが登場。新国立劇場で指揮した『リゴレット』『トスカ』では、歌手にたっぷり歌わせ、オーケストラを存分に鳴らし、情熱的な演奏で聴衆の心を鷲掴みにして劇場を熱狂させ、リピーターを続出させました。ベニーニならではの絶妙な呼吸と劇的な演奏は、イタリア・オペラの真髄を伝えるもの。ベニーニはまたベルカント・オペラの専門家として名を馳せ、メトロポリタン歌劇場や英国ロイヤルオペラなど世界の著名劇場でベルカント・オペラの指揮を任されて、歌手・オーケストラ双方の音楽、とりわけ旋律の美しさを際立たせる手腕が絶賛されています。今回も日本の観客に「最もイタリア的」なベルカント・オペラを紹介すると意気込みます。

アミーナ役には、期待の新星クラウディア・ムスキオが新国立劇場初登場。イタリア出身でシュトゥットガルト州立劇場専属歌手のムスキオは、甘い声と正確なテクニック、そして並外れた演技力でファンを集め、『愛の妙薬』アディーナで「Opernwelt」誌の2023年最優秀歌手にもノミネートされた注目のソプラノです。今年7月には現地のファンの期待の中でアミーナ役にデビュー、その表現力で感動を誘い、連日スタンディング・オベーションの熱狂を巻き起こしました。

エルヴィーノ役は世界最高峰のベルカント・テノール、アントニーノ・シラゲーザ。世界の主要歌劇場を飛び回り、超絶的なテクニックで圧倒的人気を誇る大スターのシラゲーザが、新国立劇場には2013年『愛の妙薬』以来なんと11年ぶり、待望の登場です。

日本人キャストも妻屋秀和、谷口睦美、伊藤晴、近藤圭と実力派揃い。今秋、極上のアーティストによるベルカント・オペラ『夢遊病の女』がオペラパレスに響きます。



左上より M.ベニーニ、B.リュック、C.ムスキオ、A.シラゲーザ、妻屋秀和、谷口睦美、伊藤晴、近藤圭

### 演出家バルバラ・リュックが描き出すアミーナに注目

演出は英国ロイヤルオペラなどで活躍する気鋭の演出家バルバラ・リュック。俳優からオペラ演出家に転身し、作品を丁寧に深く読み解く力が賞賛される注目株です。

『夢遊病の女』も彼女ならではの感性で読みほぐし、閉ざされた山村の社会と、そこに生きるアミーナの心情を浮き彫りにし、2022年のマドリード初演でも大いに話題となりました。ダンサーによる心理表現も注目です。



本プロダクションはスペインのテアトロ・レアル(マドリード)及びバルセロナ・リセウ大劇場、イタリアのパレルモ・マッシモ劇場との共同制作で、2022年12月にマドリードで初演されています。

## 合唱団ファン必聴！新国立劇場が誇る合唱団の魅力が最大限に生きる『夢遊病の女』



© Javier del Real | Teatro Real

『夢遊病の女』は合唱の役割が重要で、オペラの合唱の魅力が余すところなく活かされているのも聴きどころのひとつです。新国立劇場が誇る合唱団がもう一人の主演のように活躍するため、ファンの皆さんにもお楽しみいただけること間違いありません。

### 9月22日(日・祝)『夢遊病の女』オペラトーク開催決定！

オペラ『夢遊病の女』の魅力を深く掘り下げ語ります！歌唱による楽曲紹介も予定していますので、開幕前の予習としてもピッタリです。

日時:9月22日(日・祝)11:00～ 会場:オペラパレスホワイエ 料金:1,500円(税込)

[https://www.nntt.jac.go.jp/opera/news/detail/6\\_028116.html](https://www.nntt.jac.go.jp/opera/news/detail/6_028116.html)

## <「夢遊病の女」あらすじ>

スイスの小さな村で間もなく結婚を迎えるアミーナとエルヴィーノ。お忍びで村にやってきた領主の跡取りロドルフォ伯爵が投宿した宿屋を、その夜夢遊病のアミーナが訪れ、無意識のまま彼のベッドで寝入ってしまい、集まった村人たちを驚愕させる。不実を疑い結婚をやめると言い出したエルヴィーノと、これを機によりを戻そうとするリーザ。ロドルフォ伯爵はアミーナの潔白を証明しようと奔走するが、若き恋人たちの運命は…。



## 『夢遊病の女』トレーラー動画

<https://www.youtube.com/watch?v=CMIbJ-pctHY>

## <主要キャスト・スタッフプロフィール>

### 【指揮】マウリツィオ・ベニーニ

メトロポリタン歌劇場、パリ・オペラ座、ウィーン国立歌劇場、英国ロイヤルオペラなど世界の主要歌劇場、音楽祭で活躍する指揮者。ミラノ・スカラ座に『湖上の美人』でデビューし、同劇場『ドン・カルロ』『道化師』『ドン・パスクワレ』『リゴレット』『夢遊病の女』を指揮。ボローニャ歌劇場管弦楽団、サンチャゴ・ムニシパル劇場首席指揮者、サン・カルロ歌劇場首席客演指揮者などを歴任。最近ではメトロポリタン歌劇場『ドン・パスクワレ』『ロベルト・デヴェリユー』『セビリアの理髪師』『清教徒』『ノルマ』、オランダ国立オペラ『ナブッコ』『椿姫』、チューリヒ歌劇場『カブレーティ家とモンテッキ家』『夢遊病の女』、モンテカルロ歌劇場『アドリアーナ・ルクヴール』『ルイザ・ミラー』『ファルスタッフ』、パリ・オペラ座『アンナ・ボレーナ』、プエノスアイレス・コロソ歌劇場『リゴレット』、テアトロ・レアル『イル・トロヴァトーレ』『夢遊病の女』『清教徒』、ワロン歌劇場『オテロ』(ロッシーニ)、『カブレーティ家とモンテッキ家』などを指揮。新国立劇場では98年『セビリアの理髪師』でデビュー、23年『リゴレット』、24年『トスカ』で絶賛を博す。

### Maurizio BENINI





**【演出】バルバラ・リュック****Bárbara LLUCH**

バルセロナの演劇一家に生まれ演劇を学び、俳優としてロベール・ルパージュやマウリツィオ・スカパロらの作品に出演。ナショナル・テアトロ・クラシコ・カンパニー『ドン・ファン・テノーリオ』『ドニャ・イネスをはじめ映画やテレビまで幅広く活動。2005年からオペラ演出家および演出助手として活動。再演演出家として、英国ロイヤルオペラでフランチェスカ・ザンペロ演出『ドン・ジョヴァンニ』、リチャード・エア演出『椿姫』、デイヴィッド・マクヴィカー演出『フィガロの結婚』『サロメ』『魔笛』、モネ劇場でロベール・ルパージュ演出『放蕩者のなりゆき』、シドニーとブエノスアイレスでカスパー・ホルテン演出『エウゲニオ・オネーギン』『恋愛禁制』などを担当。自身の演出に、マドリード・サルセラ劇場の『中国の女たち』『ベルナルダ・アルバの家』(オペラ XXI 賞最優秀作品賞受賞)『狂った王様』、マドリード・テアトロ・クラシコ『夏の夜の夢』、ソフィア王妃芸術宮殿『嫉妬への警告』、ウルグアイのソリス劇場『一輪のぼら』、テアトロ・レアル『夢遊病の女』、リセウ大劇場『冬の旅』など。最近ではテアトロ・レアルでマリア・マンチャド・トレスの現代オペラ『La regenta』を演出している。新国立劇場初登場。

**【ロドルフォ伯爵】妻屋秀和(バス)****TSUMAYA Hidekazu**

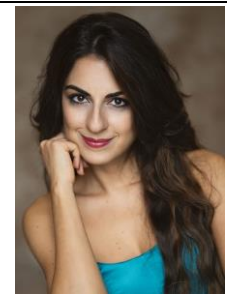
東京藝術大学卒業、同大学大学院オペラ科修了。1994～2001年ライブツィヒ歌劇場、02年～11年ワイマールのドイツ国民劇場専属歌手。これまでにベルリン・ドイツ・オペラ、ベルリン州立歌劇場、ライン・ドイツ・オペラ、スコティッシュ・オペラなどに出演。欧州、日本でモーツァルト、ロッシーニ、ヴェルディ、プッチーニ、ワーグナー、R.シュトラウス等のオペラの主要な役を100役以上演じており、新国立劇場では『ラ・ボエーム』コッリーネ、『ドン・ジョヴァンニ』騎士長、『セビリアの理髪師』ドン・バジリオ、『アイーダ』ランフィス、『リゴレット』スパラフチーレ、『ドン・カルロ』宗教裁判長/フィリップ二世、『ラインの黄金』ファールト、『魔笛』ザラストロ、『ルチア』ライモンド、『タンホイザー』領主ヘルマン、『トゥーランドット』ティムール、『夏の夜の夢』クインス、『イオランタ』ルネ、『ニュルンベルクのマイスタージンガー』ハンス・フォルツ、『さまよえるオランダ人』ダーラント、『ぼらの騎士』オックス男爵、『ベレアスとメリザンド』アルケルなど出演多数。芸術選奨文部科学大臣賞受賞。

**【テレザ】谷口睦美(メゾソプラノ)****TANIGUCHI Mutsumi**

東京藝術大学卒業、同大学院修了。二期会オペラスタジオ第 47 期マスタークラス修了。修了時に優秀賞受賞。第 2 回大阪国際コンクール声楽部門入選。これまでに『イル・トロヴァトーレ』アズチーナ、『コジ・ファン・トゥッテ』ドラベッラ、『皇帝ティートの慈悲』セスト、『ドン・カルロ』エポリ公女などを演じている。モーツァルト『ミサ曲ハ短調』、ベートーヴェン『第九』、ヴェルディ『レクイエム』などのソリストとしても活躍。新国立劇場では『ナブッコ』フェネーナ、『カヴァレリア・ルスティカーナ』ローラ、『鹿鳴館』大徳寺公爵夫人季子、『ホフマン物語』アントニアの母/ステッラ等に出演。21 年鑑賞教室及びびわ湖ホール公演『カルメン』タイトルロールでも好評を博した。二期会会員。

**【アミーナ】クラウディア・ムスキオ(ソプラノ)****Claudia MUSCHIO**

イタリア・ブレーシャ出身。フェッラーラ・フレスコバルディ音楽院修了。2017 年ナポリ・サンカルロ歌劇場『魔笛』パミーナでデビューし、続く 18 年にはモデナ・パヴァロッティ劇場『セビリアの理髪師』ロジーナに出演、またペーザロ・ロッシーニ・オペラフェスティバル、キャリア歌劇場などに出演を重ねる。20/21 シーズンからはシュトゥットガルト州立劇場専属歌手となり、『ドン・ジョヴァンニ』ツェルリーナでデビュー、『子どもと魔法』火/お姫様などにも出演。21 年ジェノヴァ・カルロ・フェリーチェ歌劇場『愛の妙薬』アディーナに出演。最近ではシュトゥットガルト州立劇場で『フィガロの結婚』スザンナ、『アルチーナ』モルガナ、『ヘンゼルとグレーテル』(新制作)眠りの精/露の精などに出演、『ファルスタッフ』ナンネット、『愛の妙薬』アディーナ、『LA FEST』(新制作)で好評を博す。今年 7 月にシュトゥットガルト州立劇場で『夢遊病の女』アミーナにロールデビューし大成功を収めたばかり。コンサートへの出演も多い。新国立劇場初登場。

**【エルヴィーノ】アントニーノ・シラゲーザ(テノール)****Antonino SIRAGUSA**

メッシーナ出身。ミラノ・スカラ座、メトロポリタン歌劇場、ウィーン国立歌劇場、パリ・オペラ座、ベルリン州立歌劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ、バイエルン州立歌劇場、テアトロ・レアル、リセウ大劇場など主要劇場で国際的に活躍。ロッシーニのスペシャリスト、特に『セビリアの理髪師』アルマヴィーヴァ伯爵の最高の歌手として世界中の主要歌劇場に招かれる。ロッシーニ・オペラ・フェスティバルにもたびたび出演。近年は『リゴレット』『ファルスタッフ』『椿姫』などヴェルディの諸役でも成功を収めている。重要な出演に、メトロポリタン歌劇場『アルミーダ』、チューリヒ歌劇場『ウィリアム・テル』、ウィーン国立歌劇場、テアトロ・レアル『愛の妙薬』、リセウ大劇場『清教徒』、スカラ座『ドン・ジョヴァンニ』『イタリアのトルコ人』、ウィーン国立歌劇場、トリノ王立歌劇場、中国国家大劇院などでの『夢遊病の女』、ウィーン国立歌劇場、トリエステ歌劇場『ドン・パスクワレ』、チューリヒ歌劇場、ウィーン国立歌劇場、ボローニャ歌劇場『チェネントラ』などがある。新国立劇場へは 02 年『セビリアの理髪師』、09 年『チェネントラ』、13 年『愛の妙薬』以来待望の登場。



**【リーザ】伊藤 晴(ソプラノ)****ITO Hare**

三重大学卒業、武蔵野音楽大学大学院修了。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部第25期生修了。ミラノ、パリで研鑽を積み、13年パリ地方音楽院修了。第9回藤沢オペラコンクール第2位。小澤征爾音楽塾子どものためのオペラ『子どもと魔法』『ジャンニ・スキッキ』などに出演し、いずれも高い評価を得ている。藤原歌劇団には『ラ・ボエーム』ムゼッタでデビューし、『カルメン』『ラ・トラヴィアータ』『愛の妙薬』『ラ・ボエーム』を東京・愛知公演で熱演、藤原歌劇団・NISSAY OPERA 2021 公演『蝶々夫人』ではタイトルロールを務め、その後同役は青森・宮城・群馬公演でも絶賛を浴びた。また日本オペラ協会には『天守物語』亀姫でデビューし、『夕鶴』つうも見事に演じた。コンサートでは、小澤征爾、チョン・ミョンフン、A.パティストーニら著名な指揮者やオーケストラとの共演も多い。新国立劇場では『修道女アンジェリカ』オスミーナ、『こうもり』イーダに出演。藤原歌劇団団員。日本オペラ協会会員。愛知県立芸術大学、名古屋音楽大学各講師。

**【アレッシオ】近藤 圭(バリトン)****KONDO Kei**

国立音楽大学卒業。同大学院を首席で修了。新国立劇場オペラ研修所第9期修了。ロームミュージックファンデーション奨学生として、ドイツ・ハンブルクに留学。沼尻竜典指揮トウキョウ・モーツァルトプレーヤーズ定期公演『ドン・ジョヴァンニ』タイトルロール、『フィガロの結婚』伯爵役で2年連続出演。小澤征爾指揮『子供と魔法』に時計役、東京二期会『ナクソス島のアリアドネ』ハレルキン、日生劇場『リア』フランス国王、『ラ・ボエーム』シヨナル、グランドオペラ共同制作『カルメン』モラレスなどに出演。19年は東京芸術劇場『ドン・ジョヴァンニ』マゼット、小澤征爾音楽塾『カルメン』ダンカイロに出演している。新国立劇場には16年『魔笛』パパゲーノに急遽出演して本格的にデビューし同役出演を重ねるほか、20年『夏の夜の夢』ディミートリアス、『ドン・ジョヴァンニ』マゼット、高校生のためのオペラ鑑賞教室『蝶々夫人』シャープレスに出演している。二期会会員。



## 新国立劇場 2024/2025 シーズン オペラ 開幕公演

## ヴァンチェンツォ・ベッリーニ 夢遊病の女

全2幕&lt;イタリア語上演/日本語及び英語字幕付&gt;

La Sonnambula / Vincenzo Bellini

【公演日程】 2024年10月3日(木)18:30/6日(日)14:00/9日(水)14:00/12日(土)14:00/14日(月・祝)13:00

【会場】 新国立劇場 オペラパレス

【チケット料金】 S:29,700円・A:24,200円・B:17,600円・C:11,000円・D:7,700円・Z:1,650円

【前売開始】 2024年8月3日(土) 10:00~

※予定上演時間 約3時間(休憩含む)

指揮	マウリツィオ・ベニーニ	ロドルフォ伯爵	妻屋秀和
Conductor	Maurizio BENINI	Il conte Rodolfo	TSUMAYA Hidekazu
演出	バルバラ・リュック	テレザ	谷口睦美
Production	Bárbara LLUCH	Teresa	TANIGUCHI Mutsumi
美術	クリストフ・ヘッツァー	アミーナ	クラウディア・ムスキオ
Set Design	Christof HETZER	Amina	Claudia MUSCHIO
衣裳	クララ・ペルッフォ	エルヴィーノ	アントニーノ・シラゲーザ
Costume Design	Clara PELUFFO	Elvino	Antonino SIRAGUSA
照明	ウルス・シェーネバウム	リーザ	伊藤 晴
Lighting Design	Urs SCHÖNEBAUM	Lisa	ITO Hare
振付	イラツツェ・アンサ	アレッシオ	近藤 圭
Choreographer	Iratxe ANSA	Alessio	KONDO Kei
演出補	アンナ・ポンセ	公証人	渡辺正親
Revival Director	Annna PONCES	Un notaro	WATANABE Masachika

合唱指揮	三澤洋史
Chorus Master	MISAWA Hirofumi
合唱	新国立劇場合唱団
Chorus	New National Theatre Chorus
管弦楽	東京フィルハーモニー交響楽団
Orchestra	Tokyo Philharmonic Orchestra

芸術監督	大野和士
Artistic Director	ONO Kazushi

共同制作 テアトロ・レアル、リセウ大劇場、パレルモ・マッシモ劇場  
Co-production with Teatro Real of Madrid, Gran Teatre del Liceu, Teatro Massimo di Palermo

主催:公益財団法人新国立劇場運営財団、独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁

制作:新国立劇場

委託:令和6年度日本博 2.0 事業(委託型)

\*アミーナ役に出演を予定しておりましたローザ・フェオラは、芸術上の理由により降板することになりました。代わりまして、クラウディア・ムスキオが出演いたします。

公演情報 WEB サイト <https://www.nntt.jac.go.jp/opera/la-sonnambula/>

【チケットのご予約・お問い合わせ】 新国立劇場ボックスオフィス TEL:03-5352-9999 (10:00~18:00)

新国立劇場Webボックスオフィス <http://nntt.pia.jp/>

【チケット取り扱い】チケットぴあ、イープラス、ローソンチケットほか

\* 乙席 1,650円:公演当日朝10時より、新国立劇場 Web ボックスオフィスほかで販売。1人1枚。電話予約不可。

\* 当日学生割引(50%)、ジュニア割引(20%)、高齢者割引、障害者割引、学生割引など各種割引あり。\* 未就学児入場不可。

本公演の告知では、テアトロ・レアル公演の写真をご使用いただけます。





【1】



【2】



【3】



【4】



【5】



【6】



【7】



【8】



【9】



【10】

テアトロ・リアル 2022 年公演より © Javier del Real | Teatro Real